

# 市長定例会見

2024年10月25日

# 今日お伝えしたいこと

1. 神戸市直営防犯カメラによる  
さらなる地域安全対策

2. 令和6年能登半島地震

・令和6年9月能登地方豪雨災害 被災地支援

3. こうべ里山SDGs 農業の推進

～「たい肥」を活用したペレットの販売開始～

**神戸市直営防犯カメラによる  
さらなる地域安全対策**

## ◇首都圏で2024年8月以降発生している 連続強盗事件について

### 露木 康浩 警察庁長官 コメント

国民の体感治安に大きく影響を及ぼしており、  
非常に深刻な事態であると警察としても認識

# これまでの取り組み

## 2012年～

地域への防犯カメラ設置補助を開始

【2023年度末】3,083か所設置

## 2020年～

3か年で2,500台設置！

新たに**直営**の防犯カメラの設置を開始

|目的| 子どもや女性に対する犯罪の予防・解決

|箇所| 2020～21年 2,000台 設置

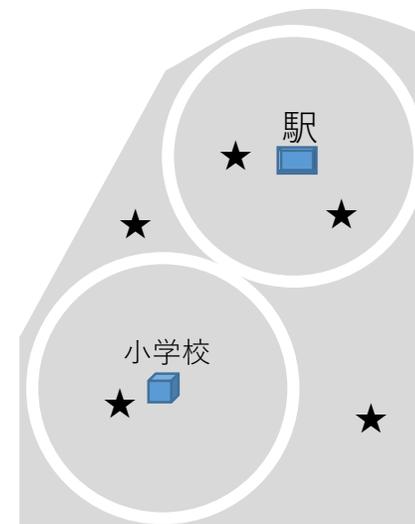
→ 小学校半径500m内の通学路・主要駅周辺

2023年 500台 増設

→ 小学校半径500m圏外の通学路・準主要駅周辺

### 2012年 イメージ

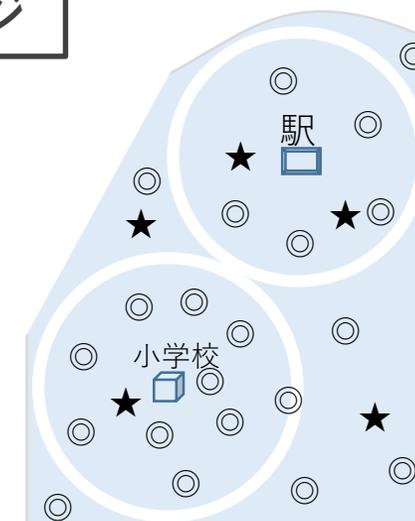
★ 地域カメラ



### 2020～23年 イメージ

★ 地域カメラ

◎ 神戸市直営カメラ



# 現在のカメラ増設の取り組み

2024年～26年

3か年で2,500台増設予定

直営の防犯カメラを 2,500台 → **5000**台

|箇所| 小学校の指定通学路上の交差点

すべての鉄道駅周辺

|予定| 2024年度 500台増設 (東灘区・中央区)

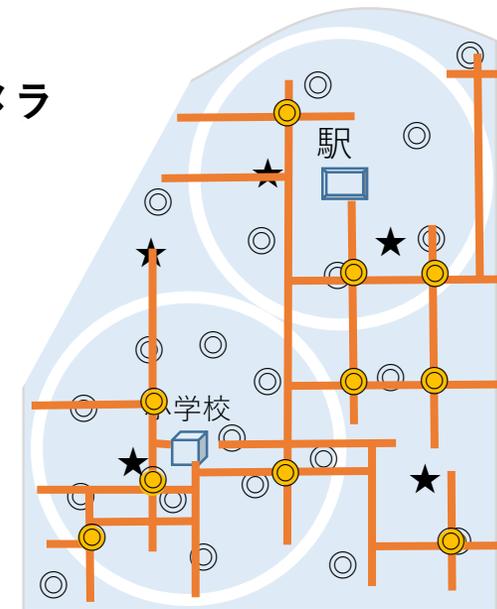
2025年度 1,000台増設 (兵庫区・北区・垂水区)

2026年度 1,000台増設 (灘区・長田区・須磨区・西区)

2024～26年 イメージ

★ 地域カメラ

◎ 神戸市直営カメラ



市民の安心・安全のため、更なる取り組みを進めます

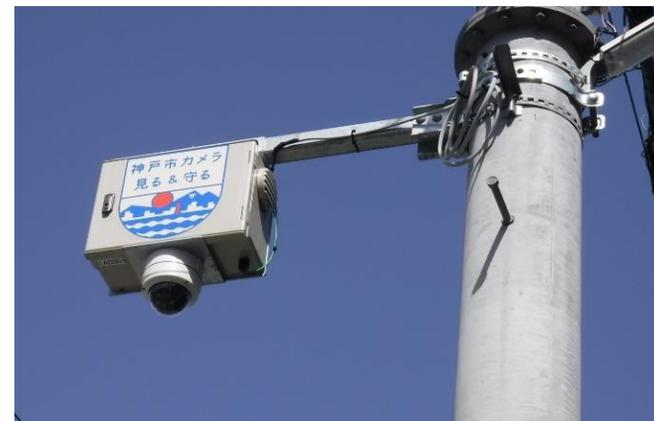
# さらなる地域安全対策

## 背景

2024年8月以降、首都圏で連続強盗事件が発生

- ・闇バイトの実行役が関与
- ・東京、埼玉、千葉、神奈川で集中発生
- ・少なくとも14事件が確認

住宅街での連続発生に市民の不安は増しています



## 今後

これまでの「通学路・駅周辺」への設置



NEW

「**住宅街での犯罪予防**」を目的とした防犯カメラ増設



**市民の安心・安全を守り**

**犯罪の起きにくいまちづくりに**

**全力で取り組みます**

**令和 6 年能登半島地震・令和 6 年 9 月能登地方豪雨災害  
被災地支援**

# これまでの支援 ～市職員の派遣～

派遣先	支援内容	派遣人数	派遣開始
珠洲市	広報関係業務	1名（事務）	4/1～
	道路啓開、河川災害復旧工事の設計、施工監理	2名（土木）	4/1～
	住宅の応急修理対応、 公営住宅災害復旧・建築工事の設計、施工監理	1名（建築）	4/1～
	上下水道料金の減免・還付に関する事務	1名（事務）	11/1～
穴水町	災害復旧工事にかかる 災害調査・災害査定対応及び工事発注業務	1名（土木）	4/1～
	水道施設の災害復旧工事にかかる 災害調査・災害査定対応及び工事発注業務	1名（土木）	7/1～
	仮設住宅入居者の健康管理支援業務	1名（保健師）	11/1～

# これまでの支援 ～能登半島地震支援助成～

## 概要

被災地域での復旧・復興を支援するための  
市民団体の活動を助成

(1団体あたりの上限額 50万円)

## 実績

2023年度 | 6団体 / 167万円

2024年度 | 9団体 / 447万円

※今年度の受付は終了

助成利用団体の支援現場



# さらなる被災地支援 ～市民団体への追加補助～

## 対象活動

被災地域での復旧・復興を支援するための市民団体の活動へ**追加補助**  
(1団体あたりの上限額 50万円)

### |対象活動|

- ・ 現地での廃棄物の撤去
- ・ ボランティア活動を希望する市民と現地との調整
- ・ ボランティアの足となるバスや現地での必要品の手配 等

## 対象期間

2024年9月21日～2025年3月末

豪雨の被害を受け  
新たに受付開始 (11/1予定)

## 概要

被災家屋への復旧支援を行う市民ボランティア活動をコーディネート

### |実施内容|

- ・市民ボランティアチーム（20～40名）の組成及び現地派遣
- ・現地派遣用バスおよび宿泊所の手配、必要装備品等の支給
- ・活動の実施日および段取り等調整

## 期間

詳細は後日お知らせ

2024年11月～12月

能登の被災地の復興に向け、さらなる支援に取り組んでいく

**こうべ里山SDG s 農業の推進  
～「たい肥」を活用したペレットの販売開始～**

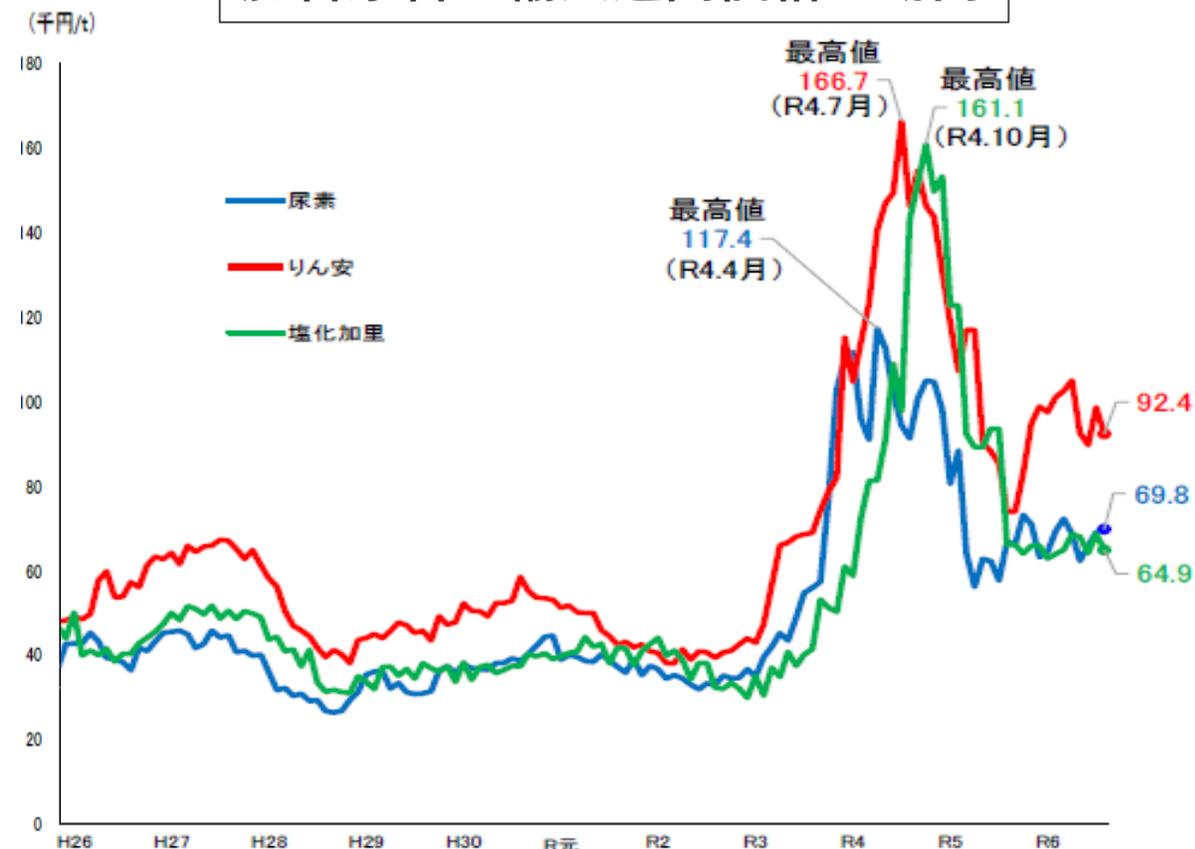
# 農業を取り巻く環境

## 現状

- 化学肥料原料のほとんどを輸入
- 国際情勢により原料価格は変動

肥料原料の国際価格の上昇は  
国内の農業経営に大きな影響

### 肥料原料の輸入通関価格の動向



出典：農水省「令和6年9月 肥料をめぐる情勢」

国内資源を活用した肥料への転換は食料安全保障にとって重要

# これまでの取り組み ～こうべ再生リンの活用～



循環の輪  
“こうべ再生リンプロジェクト”



- ・ 地産地消を確立
- ・ 10種以上の作物に使用
- ・ 生産者が使いやすい形状

# 新たな地域資源の活用 ～たい肥（市内産）の利用～

## たい肥のメリット

- ・ 化学肥料の低減による環境負荷の軽減
- ・ 資源循環による農家の経営改善
- ・ 土壌改良効果や有機農業への利用 など

## 現在の取り組み

たい肥を“生産”する畜産農家



市から補助  
最大3,500円/t

たい肥を“利用”する耕種農家



年間約 5,200 t の「たい肥」を利用  
(2023年度実績)

# 「ペレットたい肥」の生産

## ○ 生産方法

たい肥を 水分調整/造粒/冷却し、  
円柱状（直径6 mm, 長さ約1 cm）に加工

## ○ 特長・メリット

- ・ 保存性が高く、広域流通が可能
- ・ 扱いやすく散布が容易
- ・ 品質が安定 など



今後、こうべ再生リンとたい肥を合わせた混合肥料を開発予定

# 「ペレットたい肥」の販売開始

## ○ 販売日・販売価格

農家向け | 2024年11月20日頃～

990円 (12kg入り)

一般向け | 2024年12月下旬～

400円 (1kg入り)

## ○ 販売先

JA直売所 / 市内ホームセンター

イメージ(こうべSDGs肥料(一般向け))



販売元:神戸農政公社

11月2日「こうべ里山SDGs農業」PRイベントを開催



地域資源循環型・環境保全型の「こうべ里山SDGs農業」を推進